

第16期

運用報告書(全体版)

DCワールド・ソブリンインカム 確定拠出年金専用

【2022年2月25日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「DCワールド・ソブリンインカム」は、2022年2月25日に第16期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2006年2月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	当ファンドは、ワールド・ソブリンインカムマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に分散投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、実質外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益には、マザーファンドの利子・配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準、経済的合理性等を勘案して決定します。分配金は、決算日の基準価額で再投資します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配)	税 込 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
12期(2018年2月26日)	12,954	0	1.4	407.56	2.2	95.9	—	90
13期(2019年2月25日)	13,119	0	1.3	417.33	2.4	91.3	—	94
14期(2020年2月25日)	13,775	0	5.0	443.44	6.3	90.7	—	105
15期(2021年2月25日)	13,720	0	△0.4	447.49	0.9	94.2	—	105
16期(2022年2月25日)	13,597	0	△0.9	450.47	0.7	93.9	—	112

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首) 2021年2月25日	円	%	ポイント	%	%	%
	13,720	—	447.49	—	94.2	—
2月末	13,616	△0.8	447.85	0.1	94.1	—
3月末	13,864	1.0	453.78	1.4	89.5	—
4月末	13,851	1.0	455.16	1.7	92.8	—
5月末	14,000	2.0	460.85	3.0	92.4	—
6月末	14,010	2.1	459.60	2.7	89.8	—
7月末	14,072	2.6	463.39	3.6	94.0	—
8月末	14,083	2.6	462.75	3.4	94.9	—
9月末	13,931	1.5	459.88	2.8	88.3	—
10月末	14,172	3.3	466.81	4.3	91.2	—
11月末	14,005	2.1	462.68	3.4	89.3	—
12月末	14,062	2.5	465.72	4.1	90.7	—
2022年1月末	13,805	0.6	458.02	2.4	95.1	—
(期末) 2022年2月25日	13,597	△0.9	450.47	0.7	93.9	—

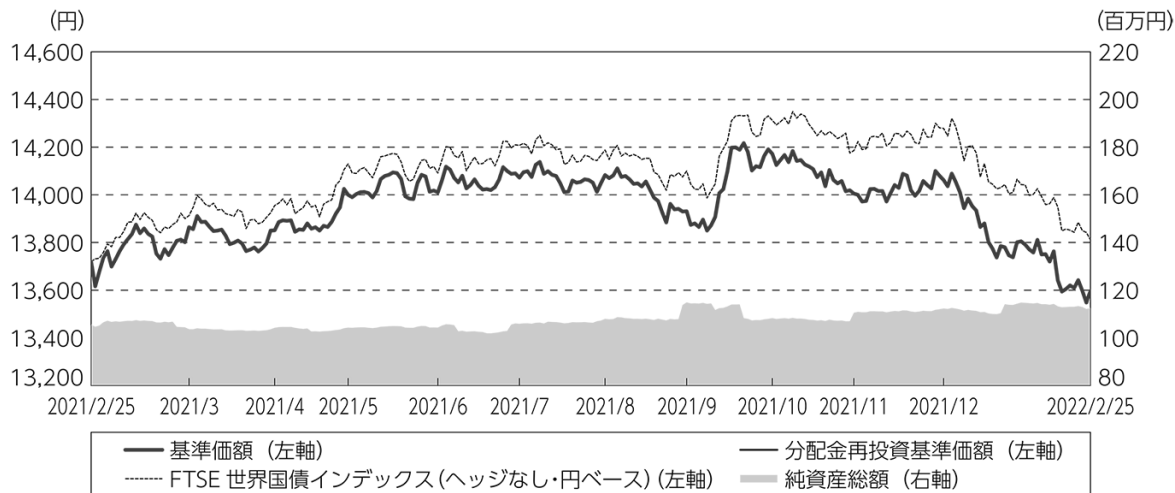
(注) 騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年2月26日～2022年2月25日)



期首：13,720円

期末：13,597円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：△ 0.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2021年2月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米ドル、イギリスポンドが対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・投資国の債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。
- ・オーストラリアドルが対円で下落したこと。

投資環境

(2021年2月26日～2022年2月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展、米国での大規模な経済対策法案の成立、ユーロ圏における復興基金調達のための大規模な債券発行計画の発表などを受けて、投資国の債券利回り上昇（価格は下落）が先行する展開となりました。しかし、新型コロナウイルスの変異株（デルタ株）の世界的な感染拡大等を受けて、世界経済の回復ペース鈍化への懸念が高まったことなどから、2021年8月にかけては利回り低下（価格は上昇）が進行しました。その後、米連邦準備制度理事会（FRB）を筆頭に各中央銀行が金融政策の正常化に前向きな姿勢を示したことから、利回りは上昇に転じました。11月下旬以降は、新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）の感染拡大懸念から利回り低下が優勢となる場面も見られましたが、2022年に入ると、FRBが利上げペースの加速や保有資産の早期縮小に踏み切るとの観測が強まったことを受けて、投資国の債券利回り上昇が鮮明となりました。また、ユーロ圏では、欧州中央銀行（ECB）による年内利上げ観測が台頭するとともに、利上げ前にECBの債券購入プログラムが停止されるとの懸念から、イタリア国債の利回り上昇が顕著となりました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、イタリアを筆頭に全ての投資国で上昇しました。

＜為替市場＞

為替市場では、内外金利差の拡大や新型コロナウイルスのワクチン接種の進展に伴う世界経済の回復期待の高まりなどを背景に、投資通貨に対し円が軟調なスタートとなりました。しかし、2021年6月中旬以降は、米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受けて円を除く投資通貨に対し米ドルの上昇圧力が強まる展開となり、米ドルは対円で狭いレンジ内でのみ合いに終始する一方、米ドル以外の投資通貨は対円で軟調に推移しました。その後、内外金利差の拡大や原油価格上昇に伴う日本の貿易収支の悪化観測を背景に、10月には投資通貨に対し円が全面安の展開となりましたが、11月には急速な円安に対する反動やオミクロン株の感染拡大懸念から、投資通貨に対し円高が進行するなど、不安定な動きが続きました。2022年に入ると、海外金利の大幅な上昇や原油価格上昇が円安要因として働く一方、世界的な株安やウクライナ情勢の緊迫化が円高要因として意識され、各投資通貨が対円で上下する展開となりました。この結果、当期においては、米ドル、カナダドル、イギリスポンド、ユーロが対円で上昇する一方、オーストラリアドルが対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年2月26日～2022年2月25日)

＜DCワールド・ソブリンインカム＞

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

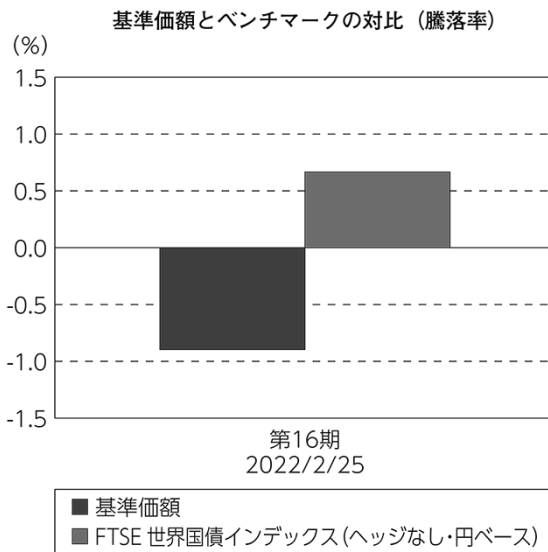
8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.75年～8.78年の範囲内での推移となり、期末は8.05年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は79.9%～95.7%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンド、米ドルは高め、円とユーロは低めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年2月26日～2022年2月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を1.6%下回りました。債券要因では、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションをベンチマークと比較し短めで推移させましたが、相対的に利回り上昇幅が大きかった海外債券の投資比率が高かったことがマイナスとなりました。為替要因では、多くの投資通貨に対し円安が進行する中、ベンチマークと比較し外貨の投資比率を総じて高めに維持しましたが、通貨配分変更のタイミングが悪く、ベンチマークのパフォーマンスを下回る結果となりました。また、ベンチマークと比較し、オーストラリアドルの投資比率を高めで推移させたこともマイナスとなりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

(2021年2月26日～2022年2月25日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期間におきましては、基準価額水準、分配可能額、経済的合理性を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第16期	
	2021年2月26日～ 2022年2月25日	
当期分配金 (対基準価額比率)	—	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	7,513	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

投資国の債券市場では、FRBを筆頭に各中央銀行が利上げに前向きなタカ派姿勢に転じており、引き続き利回り上昇への警戒が必要な局面と判断しています。ただ、2022年に入り、FRBによる利上げペースの加速と保有資産の早期縮小を一気に織り込んだことから、今後は経済情勢と実際の金融政策を見極める局面に移行して行くと考えています。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻と主要先進国による対ロシア経済制裁発表を受けて、各中央銀行の金融政策や景気の先行きに対する不透明感が強まっており、当面は不安定な相場展開が続く可能性が高いと見えています。

為替市場では、原油等の資源価格上昇に伴う日本の貿易収支悪化を背景に、円安基調が継続する可能性が高いと判断しています。一方、2022年に入り、世界的に株価が不安定な動きを続けていることや、ウクライナ情勢への懸念が残ることなどから、投資家のリスク回避の動きとともに一時的に円高圧力が強まる場面もあると見えています。

(運用方針)

<DCワールド・ソブリンインカム>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデューレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2021年2月26日～2022年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	130	0.935	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(49)	(0.352)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(74)	(0.528)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(8)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.025	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	133	0.960	
期中の平均基準価額は、13,955円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

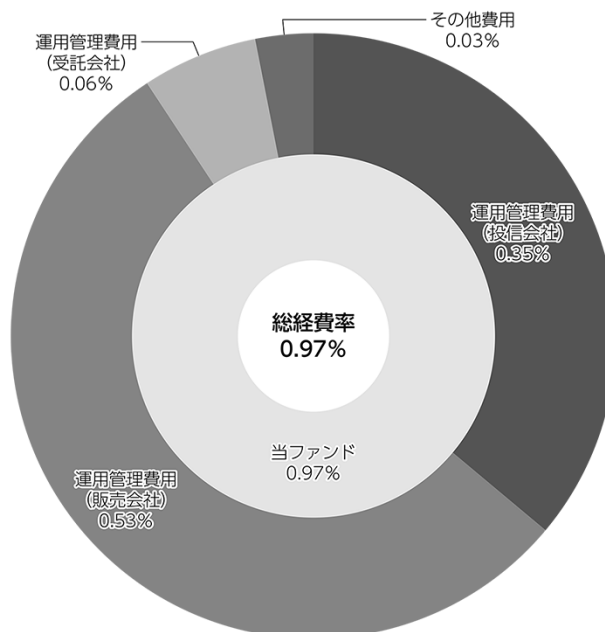
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.97%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年2月26日～2022年2月25日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	千口 12,575	千円 26,540	千口 9,173	千円 19,367

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年2月26日～2022年2月25日)

利害関係人との取引状況

<DCワールド・ソブリンインカム>

該当事項はございません。

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公社債	百万円 148,202	百万円 —	% —	百万円 152,283	百万円 1,004	% 0.7

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2022年2月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	千口 50,801	千口 54,203	千円 111,919

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千円 111,919	% 98.6
コール・ローン等、その他	1,547	1.4
投資信託財産総額	113,466	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（61,739,085千円）の投資信託財産総額（69,074,004千円）に対する比率は89.4%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝115.57円、1カナダドル＝90.21円、1ユーロ＝129.42円、1イギリスポンド＝154.66円、1オーストラリアドル＝82.57円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年2月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	113,466,039
コール・ローン等	1,546,322
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(評価額)	111,919,717
(B) 負債	984,621
未払解約金	456,426
未払信託報酬	520,890
その他未払費用	7,305
(C) 純資産総額(A-B)	112,481,418
元本	82,727,429
次期繰越損益金	29,753,989
(D) 受益権総口数	82,727,429口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,597円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,3597円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は76,864,733円、期中追加設定元本額は21,338,539円、期中一部解約元本額は15,475,843円です。

○損益の状況 (2021年2月26日～2022年2月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 55
受取利息	2
支払利息	△ 57
(B) 有価証券売買損益	△ 468,275
売買益	392,452
売買損	△ 860,727
(C) 信託報酬等	△ 1,019,873
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 1,488,203
(E) 前期繰越損益金	8,310,718
(F) 追加信託差損益金	22,931,474
(配当等相当額)	(42,424,209)
(売買損益相当額)	(△19,492,735)
(G) 計(D+E+F)	29,753,989
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	29,753,989
追加信託差損益金	22,931,474
(配当等相当額)	(42,448,948)
(売買損益相当額)	(△19,517,474)
分配準備積立金	19,705,010
繰越損益金	△12,882,495

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第16期
(a) 配当等収益(費用控除後)	1,756,507円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	42,448,948円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	17,948,503円
分配対象収益(a+b+c+d)	62,153,958円
分配対象収益(1万口当たり)	7,513円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2022年2月25日現在）

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

下記は、ワールド・ソブリンインカム マザーファンド全体(33,452,600千円)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	4,000,000	3,932,145	5.7	—	5.7	—	—	
合 計	4,000,000	3,932,145	5.7	—	5.7	—	—	

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第363回利付国債 (10年)	0.1	500,000	496,335	2031/6/20
第364回利付国債 (10年)	0.1	1,000,000	991,080	2031/9/20
第365回利付国債 (10年)	0.1	1,500,000	1,484,850	2031/12/20
第173回利付国債 (20年)	0.4	1,000,000	959,880	2040/6/20
合 計		4,000,000	3,932,145	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期				末			
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 216,000	千米ドル 222,743	千円 25,742,495	% 37.3	% —	% 22.8	% 11.1	% 3.4
カナダ	千カナダドル 31,000	千カナダドル 30,894	2,786,976	4.0	—	0.9	0.8	2.4
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	43,000	46,188	5,977,771	8.7	—	6.8	—	1.9
イタリア	63,000	61,936	8,015,825	11.6	—	5.2	2.8	3.6
フランス	63,000	73,002	9,448,041	13.7	—	11.4	2.3	—
イギリス	千イギリスポンド 19,000	千イギリスポンド 25,169	3,892,758	5.6	—	5.1	0.5	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 66,000	千オーストラリアドル 65,065	5,372,464	7.8	—	4.9	2.8	—
合 計	—	—	61,236,332	88.7	—	57.1	20.3	11.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

DCワールド・ソブリンインカム

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	国債証券	US TREASURY N/B 1.25	1.25	7,000	6,797	785,605	2026/12/31
		US TREASURY N/B 1.25	1.25	5,000	4,689	542,005	2031/8/15
		US TREASURY N/B 1.375	1.375	16,000	15,155	1,751,463	2031/11/15
		US TREASURY N/B 1.875	1.875	44,000	39,991	4,621,860	2051/11/15
		US TREASURY N/B 2.25	2.25	28,000	28,494	3,293,094	2027/2/15
		US TREASURY N/B 2.25	2.25	25,000	24,453	2,826,047	2041/5/15
		US TREASURY N/B 2.25	2.25	8,000	7,943	918,059	2052/2/15
		US TREASURY N/B 2.875	2.875	20,000	20,463	2,364,941	2023/11/30
		US TREASURY N/B 2.875	2.875	30,000	30,993	3,581,947	2025/4/30
		US TREASURY N/B 6.25	6.25	33,000	43,761	5,057,469	2030/5/15
小	計					25,742,495	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CANADA-GOV'T 1.75	1.75	18,000	18,085	1,631,525	2023/3/1
		CANADA-GOV'T 2	2.0	7,000	6,693	603,798	2051/12/1
		CANADA-GOV'T 2.25	2.25	6,000	6,115	551,652	2025/6/1
小	計					2,786,976	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0	—	10,000	9,870	1,277,388	2031/8/15
		DEUTSCHLAND REP 0	—	16,000	15,727	2,035,476	2032/2/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	8,000	10,451	1,352,583	2028/7/4
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	9,000	10,140	1,312,322	2024/1/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.85	0.85	15,000	14,920	1,930,991	2027/1/15
		BTPS 0.9	0.9	30,000	27,990	3,622,582	2031/4/1
		BTPS 4.5	4.5	18,000	19,025	2,462,251	2023/5/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	11,000	11,948	1,546,378	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	31,000	36,218	4,687,403	2030/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	11,000	12,601	1,630,870	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	10,000	12,234	1,583,388	2025/10/25
小	計					23,441,638	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	10,000	13,989	2,163,616	2039/9/7
		UK TSY GILT 4.75	4.75	7,000	8,958	1,385,580	2030/12/7
		UK TSY GILT 5	5.0	2,000	2,221	343,561	2025/3/7
小	計					3,892,758	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1	1.0	32,000	28,778	2,376,272	2031/11/21
		AUSTRALIAN GOVT. 2.75	2.75	23,000	23,759	1,961,799	2024/4/21
		AUSTRALIAN GOVT. 4.75	4.75	11,000	12,527	1,034,392	2027/4/21
小	計					5,372,464	
合	計					61,236,332	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

第19期 運用状況のご報告

決算日：2021年3月25日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
15期(2017年3月27日)	18,209	△5.2	397.19	△3.5	85.2	—	92,361
16期(2018年3月26日)	18,811	3.3	406.51	2.3	90.2	—	83,339
17期(2019年3月25日)	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—	77,051
18期(2020年3月25日)	20,125	3.7	441.57	5.4	94.3	—	90,359
19期(2021年3月25日)	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—	84,082

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

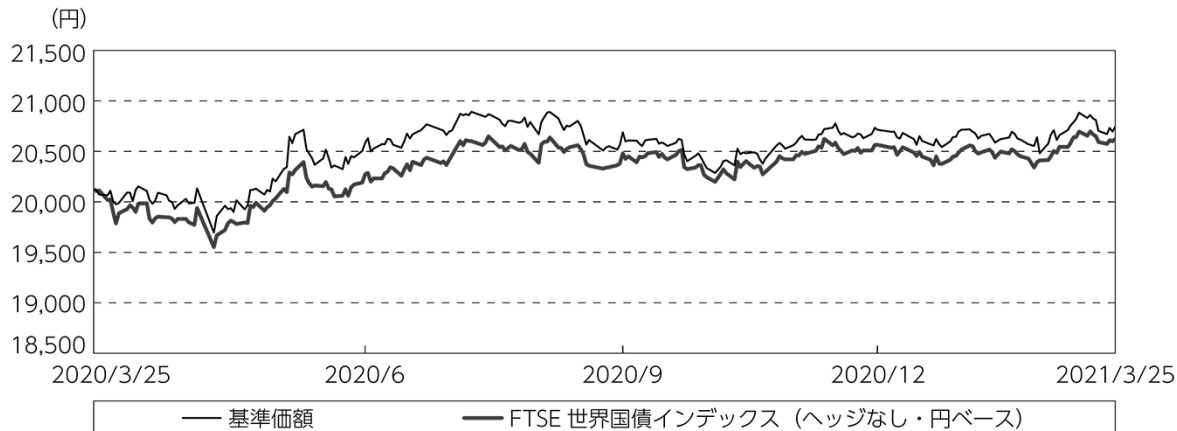
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2020年3月25日	円	%	ポイント	%	%	%
	20,125	—	441.57	—	94.3	—
3月末	20,111	△0.1	439.41	△0.5	94.1	—
4月末	19,991	△0.7	433.84	△1.8	95.1	—
5月末	20,204	0.4	439.57	△0.5	94.3	—
6月末	20,586	2.3	444.88	0.7	92.6	—
7月末	20,708	2.9	449.00	1.7	89.3	—
8月末	20,670	2.7	447.34	1.3	88.0	—
9月末	20,689	2.8	449.36	1.8	87.2	—
10月末	20,336	1.0	444.22	0.6	91.9	—
11月末	20,562	2.2	448.09	1.5	96.5	—
12月末	20,716	2.9	451.23	2.2	90.0	—
2021年1月末	20,714	2.9	450.23	2.0	87.9	—
2月末	20,483	1.8	447.85	1.4	94.7	—
(期末) 2021年3月25日	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年3月26日～2021年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

(注) ベンチマークは、期首（2020年3月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・フランスとイタリアの長期債利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したこと。
- ・米ドルを除く投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロ圏を除く投資国の長期債利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。
- ・米ドルが対円で下落したこと。

投資環境

(2020年3月26日～2021年3月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、前期末にかけて多くの中央銀行が利下げや量的緩和（国債等の資産を購入し市場に資金を供給する政策）による金融緩和を実施したことから、利回りが低下（価格は上昇）してスタートしました。その後も各国の債券利回りは総じて低位での推移となりましたが、徐々に景気回復の動きが強まったことや、2020年11月の米国の大統領選挙後に世界的な株高が進行したことを受けて、年末に向けて債券利回りは緩やかに上昇（価格は下落）しました。2021年に入ると、米国において大規模な追加経済対策が成立するとの見通しが強まったことや、世界的な新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を受けて経済活動の正常化への期待が高まったことから、米国を中心に投資国の債券利回りの上昇基調が鮮明となりました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、ユーロ圏の投資国を除き上昇しました。ユーロ圏においては、欧州中央銀行（ECB）がパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）による資産購入を継続したことや、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて景気回復ペースの鈍化が懸念されたことなどが、利回り低下要因となりました。特に、イタリアに関しては、欧州連合（EU）首脳会議での復興基金の創設合意やドラギ前ECB総裁の首相就任もサポート要因となり、大幅な利回り低下となりました。

＜為替市場＞

為替市場では、主要先進国の強力な金融・財政政策に支えられ、世界的に株価が戻り歩調となったことや、徐々に景気回復の動きが強まったことから、投資家のリスク選好の動きが優勢となり、2020年中は米ドル以外の投資通貨が対円で堅調に推移しました。一方、米ドルに関しては、米連邦準備制度理事会（FRB）が現在の金融緩和策を長期間維持するとの見方を背景に、対円で軟調な推移が続きました。しかし、2021年に入ると、世界的に債券利回りの上昇基調が鮮明となり、内外金利差が拡大（一部の国に対しては、内外金利差のマイナス幅が縮小）したことを受けて、投資通貨全般が対円で堅調に推移しました。この結果、当期においては、米ドルが対円で小幅に下落した以外は、オーストラリアドルを筆頭に全ての投資通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年3月26日～2021年3月25日)

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション*を変化させました。デュレーションは、6.17年～8.86年の範囲内での推移となり、期末は8.47年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は78.5%～95.8%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、円、ユーロが低め、米ドルが同程度、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは高めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年3月26日～2021年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.6%上回りました。債券要因では、ユーロ圏を除く投資国の長期債利回りが上昇する中で、ベンチマークと比較し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションを短めに推移させましたが、国別の配分やデュレーション戦略が十分に機能せず、ベンチマークのパフォーマンスを下回る結果となりました。為替要因では、ベンチマークと比較し、オーストラリアドルを筆頭に外貨の投資比率を高めで推移させたことがプラスに寄与しました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、世界的な新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や米国における大規模な経済対策法案の成立等を背景に、2021年の年明け以降米国を中心に各国の長期債利回りが大幅に上昇しました。ただ、先行きの景気回復と利上げが概ね市場に織り込まれていると思われることや、ECBが長期債利回りの上昇を抑制する姿勢を鮮明にしていることから、当面債券利回りの上昇圧力は和らぐ可能性が高いと見ています。一方、今後各投資国のインフレ率の上昇が予想される中で、景気回復ペースの加速を示唆する経済指標の発表が続いた場合は、再び投資国の長期債利回りが上昇に向かう展開になると考えています。

為替市場では、2021年に入り各投資国の金利動向と各通貨のパフォーマンスとの相関が高まっています。相対的に日本の金利変動幅が小さいことから、世界的な金利上昇局面では内外金利差が拡大し円安が進行しやすいと思われます。また、海外金利の大幅な上昇を受けて、市場参加者の中期的な見通しが大きく変化しており、今後も米国主導の世界的な景気回復基調が続く中では、対米ドル中心に円安地合いが継続する可能性が高いと判断しています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年3月26日～2021年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.012	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、20,480円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2020年3月26日～2021年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 14,049,535	千円 13,530,370
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 677,574	千米ドル 548,313 (101,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 384,666	千カナダドル 425,049
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	78,308	131,755
	イタリア	国債証券	248,746	203,407
	フランス	国債証券	33,001	31,522
	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 82,543	千イギリスポンド 107,369
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 649,326	千オーストラリアドル 715,017

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年3月26日～2021年3月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 220,969	百万円 2,502	% 1.1	百万円 220,070	百万円 999	% 0.5

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2021年3月25日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 6,500,000	千円 6,511,280	% 7.7	% —	% 7.7	% —	% —	
合 計	6,500,000	6,511,280	7.7	—	7.7	—	—	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第357回利付国債 (10年)	0.1	2,000,000	2,012,180	2029/12/20
第359回利付国債 (10年)	0.1	3,000,000	3,012,390	2030/6/20
第173回利付国債 (20年)	0.4	1,500,000	1,486,710	2040/6/20
合 計		6,500,000	6,511,280	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 299,000	千米ドル 308,742	千円 33,615,866	% 40.0	% —	% 30.6	% —	% 9.4
カナダ	千カナダドル 28,000	千カナダドル 28,501	2,467,924	2.9	—	1.4	—	1.6
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	25,000	32,253	4,149,448	4.9	—	3.3	1.6	—
イタリア	66,000	70,903	9,121,681	10.8	—	6.3	4.5	—
フランス	74,000	88,941	11,442,307	13.6	—	11.6	2.0	—
イギリス	千イギリスポンド 27,000	千イギリスポンド 37,865	5,644,632	6.7	—	6.0	—	0.7
オーストラリア	千オーストラリアドル 31,000	千オーストラリアドル 32,209	2,663,372	3.2	—	3.2	—	—
合 計	—	—	69,105,232	82.2	—	62.3	8.2	11.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円			
国債証券	US TREASURY N/B 1.5	1.5	22,000	21,962	2,391,242	2030/2/15	
	US TREASURY N/B 1.625	1.625	52,000	44,273	4,820,457	2050/11/15	
	US TREASURY N/B 1.75	1.75	48,000	49,072	5,343,013	2029/11/15	
	US TREASURY N/B 1.875	1.875	30,000	27,173	2,958,643	2051/2/15	
	US TREASURY N/B 2.25	2.25	20,000	21,398	2,329,861	2026/3/31	
	US TREASURY N/B 2.25	2.25	24,000	25,663	2,794,201	2027/2/15	
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	33,000	46,478	5,060,572	2030/5/15	
	US TREASURY N/B 8	8.0	50,000	52,507	5,717,050	2021/11/15	
	US TREASURY N/B 8.125	8.125	20,000	20,213	2,200,822	2021/5/15	
小 計					33,615,866		
カナダ		千カナダドル	千カナダドル				
国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	13,000	13,234	1,145,954	2051/12/1	
	CANADA-GOV'T 9.75	9.75	15,000	15,267	1,321,969	2021/6/1	
小 計					2,467,924		
ユーロ		千ユーロ	千ユーロ				
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 1.25	1.25	8,000	10,307	1,326,072	2048/8/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	8,000	11,177	1,438,008	2028/7/4
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	9,000	10,768	1,385,367	2024/1/4

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア	国債証券	BTPS 0.9	0.9	40,000	41,203	5,300,791	2031/4/1
		BTPS 4.5	4.5	16,000	17,655	2,271,403	2023/5/1
		BTPS 5	5.0	10,000	12,044	1,549,486	2025/3/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 0.5	0.5	11,000	11,682	1,502,988	2029/5/25
		FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	15,000	18,117	2,330,790	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	38,000	46,067	5,926,571	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	10,000	13,073	1,681,957	2025/10/25
小 計						24,713,437	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	16,000	24,191	3,606,253	2039/9/7
		UK TSY GILT 4.75	4.75	7,000	9,609	1,432,450	2030/12/7
		UK TSY GILT 8	8.0	4,000	4,064	605,927	2021/6/7
小 計						5,644,632	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1.5	1.5	20,000	19,694	1,628,513	2031/6/21
		AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	11,000	12,514	1,034,858	2039/6/21
小 計						2,663,372	
合 計						69,105,232	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	75,616,512	87.6
コール・ローン等、その他	10,750,988	12.4
投資信託財産総額	86,367,500	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (76,170,434千円) の投資信託財産総額 (86,367,500千円) に対する比率は88.2%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝108.88円、1カナダドル＝86.59円、1ユーロ＝128.65円、1イギリスポンド＝149.07円、1オーストラリアドル＝82.69円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	92,683,362,113
コール・ローン等	1,496,240,405
公社債(評価額)	75,616,512,375
未収入金	14,753,421,523
未収利息	652,555,303
前払費用	164,632,507
(B) 負債	8,601,125,950
未払金	8,601,081,071
未払利息	566
その他未払費用	44,313
(C) 純資産総額(A-B)	84,082,236,163
元本	40,534,004,851
次期繰越損益金	43,548,231,312
(D) 受益権総口数	40,534,004,851口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,744円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.0744円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は44,898,697,912円、期中追加設定元本額は533,158,504円、期中一部解約元本額は4,897,851,565円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)	39,071,371,626円
Wソブリン毎月分配型 (一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付)	586,248,539円
私募ソブリン15-01 (適格機関投資家専用)	352,911,389円
ワールド・ソブリンインカム (1年決算型)	249,485,941円
ソブリンオープン (適格機関投資家専用)	124,612,808円
私募ソブリン07-04 (適格機関投資家専用)	98,200,603円
DCワールド・ソブリンインカム	51,173,945円

○損益の状況 (2020年3月26日～2021年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,747,437,924
受取利息	2,748,740,402
その他収益金	336,879
支払利息	△ 1,639,357
(B) 有価証券売買損益	△ 21,847,152
売買益	6,861,120,896
売買損	△ 6,882,968,048
(C) その他費用等	△ 10,551,704
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,715,039,068
(E) 前期繰越損益金	45,460,965,264
(F) 追加信託差損益金	537,629,337
(G) 解約差損益金	△ 5,165,402,357
(H) 計(D+E+F+G)	43,548,231,312
次期繰越損益金(H)	43,548,231,312

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。

<当ファンドのベンチマークについて>

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。